

日野川の源流と流域を守る会

会報

ひのがわ

—第15号—

＝目次＝

- 平成21年度総会・講演会 …… 2ページ
- 黒坂竹取物語 …… 4ページ
- サクラソウを訪ねる旅 …… 6ページ
- 道後山山開きつつじ祭り …… 7ページ
- これからのイベントについて …… 8ページ

新会長に 能勢 隆之 氏を選出

(鳥取大学学長、大山・日野川・中海学協会長)

2月20日(金)、米子市文化ホールで今年度の総会を開催し、新しい会長に鳥取大学学長で大山・日野川・中海学協会長の能勢隆之氏を選出しました。

就任挨拶の中で能勢新会長は『日野川源流は地域住民の生命と健康、文化の源泉』であり、単に維持するだけでなく周辺に住む我々人間がどれだけ豊かで楽しい生活を送ることが出来るかが大切である、と今後の活動に向けた抱負を語られました。



活動方針

- 日野川流域内で熱心に活動している各団体との交流を強化する。
- 「見る」「聞く」から「触れる」「体験」主体の内容を充実させる。
- 日野川流域憲章制定記念事業の実施について、関係団体と共に積極的に取組む。
- 新規会員の加入を促進し、活動基盤の強化を図る。

永瀬前会長に感謝状を贈呈しました

発足以来7年間、会長として会の発展に御尽力いただいた永瀬正治前会長に対し、感謝の意を込めて木製感謝状と記念品を贈呈いたしました。



奥日野源流太鼓代表
大柄重人氏 作『飾り太鼓』



木製の感謝状



感謝状贈呈の様子

日野川の歴史とその魅力

講師：^{すぎもと}杉本 ^{よしみ}良巳さん
(米子市歴史館運営委員長)

◆ おかかの日野川 ◆

日野川は三国山から発し約77kmで日本海に注ぐ。同じ三国山から瀬戸内海側に流れる高梁川は約111km、いかに日野川の勾配がきついかがわかる。

大山・日野川・中海は鳥取県西部にとってシンボリックな存在。大山は父であり、日野川は母であり、中海は兄弟である。



◆ ^{かな}鉄穴流しと洪水 ◆

昔、日野川流域では砂鉄の採取が盛んであった。流水を利用して砂鉄を採取した後、不要となった土砂が日野川に流れ込み、川床が上昇して大雨ごとに洪水を繰り返した。洪水による被害の一方で、土砂流出にはプラス面もある。すなわち、弓ヶ浜の形成である。土砂が海に流れ込み、海流と北風の力により弓ヶ浜が形成されたのである。

◆ 河川交通と渡し ◆

出雲のお殿様の参勤交代はどうしても日野川を渡らなければならなかった。基本的には徒歩渡りで、日野川越えは危険を伴う最大の難所であった。車尾・八幡・溝口・舟場などの大きな渡し場の他、地域の人々が渡る渡し場もたくさんあった。

◆ 豊富な川漁 ◆

日野川にはいろいろな魚が棲んでおり、昔はサケもたくさん遡上していた。昭和10年の「米子自治史」には車尾の水産業について「アユ246kg、サケ459kg」が捕れたとある。

日野川水系漁業協同組合ではサケの稚魚の放流を続けている。日野川は大切にすればきつともそのような豊かな川に戻る。



約200人の聴衆が熱心に耳を傾けました

◆ ころの日野川 ◆

山が哲学的な思考を与えてくれ、海は人間の希望・大きな広がり・空間を与え、川は人生を考えさせてくれる。

私の若き日に口ずさんだ歌

♪ 冬去り春の訪れて 日野の流れも水ぬるみ
ラインの春を想わする 瀬音も高く青春の
華をたたえてゆくものを ♪

黒坂竹取物語 (H21.4.25)

全国的に問題になっている竹林の生態や全国の竹林対策の事例などを学習し、タケノコ掘り・伐採体験を通じて、竹林の拡大防止と森林環境の改善について理解を深め、併せて、黒坂地区の歴史についても学び、地域の人達との交流を楽しみました。

竹の生態学習

(講師:元林業試験場研究員 前田雄一氏)



九州ではなんと2mの穂先タケノコも食用にするとのことです。

黒坂鏡山城の説明

(黒坂鏡山城下を知ろう会 代表:牧智也氏)



黒坂鏡山城の復活に向けての今までの活動と今後の抱負を熱く語られました。

竹の伐採&たけのこ掘り



手鋸での作業は心配したけどできたわ。気持ちよかった。もっとやりたい。



きれいになったろー。やればできるだけ！でも、腰が痛いわ…。



すてきでしょ！いいお土産ができたわ！



★伐採作業後は、竹の子掘りを。掘った竹の子はみんなで山分けに♪

タケノコ調理実習

(講師:日野町食生活改善推進協議会)



男性も女性も和気藹々と和やかな雰囲気の中、「タケノコの木の芽合せ」ができあがり。

滝山公園散策



ウハァー!お勝ヶ池にはオタマジャクシがうじゃうじゃ。

くろさかいち 九路坂市



地区の生産者団体による物販も開催。(8団体)

地元食材をふんだんに使った弁当



タケノコご飯、タラの芽の天ぷらなどなどおいしくいただきました。

このたび
お世話になった

「黒坂鏡山城下を知ろう会」梅林 敏彦さん からご感想をいただきました。

あの厄介物をどうしたものか、という話から私たちの「竹取物語」は始まった。去年の忘年会のこと。厄介物とはタケノコのことだ。

さて、私が子供の頃には砂滑りという遊びがあった。ハゲ山の砂地の斜面を、尻の下に松の枝葉を敷いて滑り降りる。その砂滑りの場所のひとつが「城山」だった。

ところが2年前、Uターン帰郷した私の前に現れたのは、あのハゲた城山ではなく、まさしく本物のお城、鏡山城の石垣だったのである。

城跡全体を半世紀にもわたって人の目から隠し続けてきたのが大竹藪だ。この大竹藪をこつこつと少しずつ切り拓き、はるか昔のお城の面影を蘇らせてくれたのが「黒坂鏡山城下を知ろう会」だと知る。ほどなく私は、この会に入ることとなる。

で、竹と人間との格闘は今も続いており、いっそのこと、こいつらの退治をツアーに組み込んでしまえというところで、冒頭の話につながるのだが、紙数が尽きた。ともあれ、ご参加いただいた「かぐや姫」と「貴公子」の皆さま、ありがとうございました。またのお越しを。

サクラソウを訪ねる旅 (H21.5.9)



サクラソウについて学ぶ

鳥取県絶滅危惧種1類に指定されているサクラソウ。数少ない自生地である日南町福栄地区を訪ね、「福栄サクラソウを守る会」の方々にお話を伺いながら、サクラソウの生態学習と現地見学を行いました。



自生地にて、榎木会長の説明を聞く

体験活動

旧福栄小学校の廃校舎を利用して、体験活動を行いました。参加者からは「かわいいわら草履が出来て、孫の良い土産が出来た」「庭の木に取り付けて、シジュウカラを楽しみに待ちたい」などの声が聞かれました。



わら草履作り体験の部



そば打ち体験の部



巣箱作り体験の部



昼食は、地元加工グループ「いばら元気会」による地元産食材をふんだんに使ったお弁当と、打ちたての「そば」をいただきました。

道後山山開きつつじ祭りを訪ねる旅 (H21.6.21)

山開き神事の見学(於:月見ヶ丘)

夏山登山客の安全を祈願する神事「道後山山開きつつじ祭り」が開催され、源流を守る会の会員を含め約150人の方が訪れました。地元女性部による民踊、西城川太鼓の演奏、比婆荒神神楽などが披露されました。



神事は厳かにとり行われました。



西城川太鼓の演奏の様子。

広島県庄原市道後山～日南町出立山の自然散策(植生の現地学習)



ガスが漂う中の散策。眺望はあまり良くありませんでしたが、その分この時期には涼しく、非常に快適に散策ができました。参加者からも満足の声が多く聞かれました。



参加者の声

「道後山、山開きつつじ祭りイベントに参加」 米子市 庄司 候子さん

6月21日、初級コースに参加させていただき有難うございました。高齢の身で、登るまでは一抹の不安もありながら未知の世界に魅力もあり、念願がかない感謝しています。

当日は予報では午後雨でしたが幸いに雨にあうことなく、予定通り月見ヶ丘で安全祈願神事、西城太鼓演奏、比婆荒神神楽奉納を食事しながら見学し、午後予定通り道後山に向けて出発途中アカモノイワカガミ、ヒメハギ、タニウツギ、山つつじ等に出合い、うぐいす、カッコウの囀りを聞きながらところどころで藤原様の植物、木々の解説を受け、霧がたちこめ下界が見えない時もありましたが、頂上にたどりついた時には霧も晴れ広々とした下界、近くの山々も見ることが出来感激しました。ただ大山がこの方向に見えるとのことでしたが今日は見る事が出来ませんでした。

岩樋山から降りて来られた上級クラスの方達に道後山方岐点で出会い、この調子なら上級クラスに参加出来たかな?と思ったりもしました。

山あじさいはまだつぼみで開花は見られませんでした。教えて頂き、初めて半鐘かずらを知りました。地味ながらつり鐘の形をした紫がかった花でかわいらしかったです。

おかげで森林浴も出来感謝の一日でした。有難うございました。

日野川の源流と流域を守る会

平成21年度 これからの行事予定表

| 時 期 | イベント名 | 内 容 | 場 所 |
|-----------|------------------|--|-------------|
| 8月23日(日) | 日野川流域憲章制定記念事業 | 昨年制定された日野川流域憲章の制定記念事業。日野川河口付近で清掃活動、鮎の種苗生産場の見学 など | 日吉津村 富士 |
| 10月17日(土) | 都合谷たたらと上菅五滝を訪ねる旅 | たたら製鉄の学習会、上菅五滝周辺散策、もの作り体験など | 日野町 上菅 |
| 10月28日(水) | 紅葉の大宮路を訪ねる旅 | 古民家での作業体験、聖滝への散策、大宮まちづくり協議会との交流 など | 日南町 大宮地区 |
| 11月7日(土) | 元気な森を復活させ隊 | 二酸化炭素吸収が期待される人工林の間伐作業体験、木谷沢溪谷周辺の散策 | 江府町 助沢 |
| 12月上旬 | 会報「ひのがわ」の発行 | 会の活動や、日野川の源流と流域の保全などについての情報提供のため、会報を発行します。 | |

- ※ 都合により変更となる場合があります。
- ※ 行事の詳細や参加申込方法については、その都度ご案内いたします。

編集後記

2年前に日野川の源流と流域を守る会の事務局を担当するようになってから、会の活動方針がだんだんと変わってきました。今年のテーマの一つに「日野川流域の活動団体との交流の強化」というのがあります。当会の究極の目的は会則にあるように「日野川を日本一美しい川にする」ことですが、川を綺麗にするためには、河川清掃なども当然大事ですが、日野川流域の里山が元気になることも同じくらい重要です。

今年度は、源流域の里山の方々と交流することによって、下流域と上流域の交流を活発にし、お互いが理解を深め、両者が満足してお互いが元気になってもらうことを目的としたイベントを多く組んでおります。是非、この機会にイベントに参加していただき、意外と知られていない日野郡の里山の魅力を体感してください。キーワードは「上流、下流、交流！」です。（や）